

お知らせ

講師 青梅産業株式会社 様
対象者 植木班、公園・運動場管理班、す

ぐやる作業班、便利な直し屋さん
● 第1回 平成21年8月29日（土）
● 第2回 平成21年9月12日（土）
いずれも、午前9時より約2時間

日時 小中学校・保育所用務員業務就業会員
講師 入間市消防署 職員

平成21年度第1回定期総会開催
日時 平成21年6月12日（金）
午後1時30分から

会場 入間市産業文化センター
大ホール
(入間市向陽台1丁目7番)

会場 入間市勤労福祉センター大会議室
(入間市シルバー人材センター)

尚、総会終了後に会員親睦会を予定致しております。準備の都合上、親睦会への出欠の確認を、6月初旬に配布する定期総会への出欠ハガキの「親睦会出欠記入欄」にてご回答を頂くことと致します。

会場 入間市産業文化センター
会費・千円（当日、会場にて受付け。）
※酒類の飲み物も用意しますので、飲酒された方は、車の運転を絶対なさらないで下さい。

講師 入間市勤労福祉センター大会議室
田嶋（たじま）純義 様
・安全講演

講師 狹山警察署 交通課交通総務係長
入間市健康福祉センター
田嶋（たじま）純義 様
・健康講演

講師 健康福祉課 健康づくり推進担当
設楽（したら）久美子 様
・健康講演

講師 入間市勤労福祉センター大会議室
（入間市シルバー人材センター）
会場 入間市勤労福祉センター大会議室
（入間市シルバー人材センター）
会場 入間市勤労福祉センター大会議室
（入間市シルバー人材センター）

いるまシルバーだより
いるまシルバーだより

いるまシルバーだより

2009年(平成21年)5月

「私達は働くことで、生きがいと健康、そして社会参加をめざします」
いるまシルバーだより
社団法人 入間市シルバー人材センター
平成21年5月 第71号



【写真：講演中の安次嶺ボリビア大使とミニコンサート】

去る2月19日、入間市産業文化センターにおいて、駐日ボリビア大使を招いて公開講演会が開催されました。当日は開場に多くのセンター会員、一般市民の方々のご参加を頂きました。内容は11ページに掲載。

《本号の主な内容》

- ・平成20年度第2回定期総会と、長谷川理事長木下市長挨拶
- ・理事会報告
- ・ボリビア大使の公開講演会
- ・第2回ほっとな写真展＆ミニ文化祭
- ・お知らせ
- ・その他

元気な入間阿波踊り
愛好者を募集します

愛好会が活動を開始しました！

今年度4月1日に「元気な入間阿波踊り愛好会」が発足し、活動を開始しました。

愛好会の目的は、阿波踊りを楽しむための継続的活動を通して、仲間づくりと健康づくりに努め、明るい家庭及び地域社会に貢献することとしています。

現在、狭山市の東急さわやか連の方に指導をお願いし、基本の踊り方から練習しています。秋に予定している第2回元気な入間年輪まつりには、皆様の前に、あでやかな姿（？）でご披露できるようになると張り切っております。乞うご期待です！

参考ご希望の方（会員以外の方も歓迎）を募集しております。詳細は、シルバー人材センター窓口まで

電話：04-2934-5350

◎植木・草刈り機等の安全操作講習会

取り扱い講習会

日時 平成21年6月3日（水）
・集合 8時30分まで
・講習時間 9時～12時

会場 入間市黒須市民運動場内
(入間市春日町2丁目地内河川敷)

◎AED（自動体外式除細動器）
会場 入間市勤労福祉センター大会議室
(入間市シルバー人材センター)

2009年(平成21年)5月

いるまシルバーだより

No. 71 (12)

平成20年度 第2回定期総会開催される

去る3月14日 午後1時30分より、入間市産業文化会館において、平成20年度第2回定期総会が開催されました。

長谷川理事長の挨拶の後、来賓としてお迎えした入間市長 木下 博様のご祝辞を頂きました。総会は、関口事務局職員の司会のもと、議長に山下会員が選出され、審議には2時間を越える活発な質疑応答が交わされた後、最終的には原案通り全ての議案が承認されました。

理事長より、平成21年度事業計画として、①事業部・総務部の組織強化を図り、経済環境の激変への対応と会員、市民の融和を視野に、センター事業の理解と協力を得られる活動を行っていく。②すぐやる作業班、便利な直し屋さんの活動を強化しながら、センターに相応しい仕事の創出を図っていく。③昨年の「年輪まつり」の経験を踏襲し、会員・市民の行事として定着するため、催事委員会を設立し、実行委員会を中心には、参加者の増大を図っていく。④生きがい・健康・社会参加を希望する比較的高齢な会員に、就業可能な仕事の企画・計画を提案し、共働・共助しながら市民生活にも貢献できる分野としての配慮もしながら奉仕活動を実施していく等々の提案が発表され承認されました。また、今回の総会においては、山西会員より候補者の発表があり、承認頂きました。総会は、関口事務局職員の司会のもと、議長に山下会員が選出され、審議には2時間を越える活発な質疑応答が交わされた後、最終的には原案通り全ての議案が承認されました。

理事長長谷川吉男、副理事長大坂隆俊、常務理事兼事務局長森田旭、理事安間治子、梅森東雄、遠藤徳太郎、岡部知子、黒川斎、西郷幸夫、白石季郎、鈴木吉峯、野村新吉、松本純一、山下英雄、山西素直、渡邊慎吾（以上正会員）、二木貴幸、奥井利幸（以上特別会員）、監事橘多佳子（特別会員）、森實大之助（正会員）以上。（略 敬称）

第1号～第6号議案が終了後、長谷川理事長より、報告事項の発表があった。内容は、

①平成21年度第1回定期総会を6月12日（金）に産業文化センターで開催。また、総会終了後に会員の親睦交流会を予定していること。

②この総会で平成20年度の互助会の決算報告も行う旨の報告があつた。

ここに、当日出席できなかつた会員の皆

認されました。

今回より事務局による議案の内容説明の一一部にプロジェクトの使用が試みられました。

また、今回の総会において、新しい役員の選任が行われ、理事及び監事選考委員長の山西会員より候補者の発表があり、承認後、臨時理事会が開かれ、新任理事の互選により、新役員は次のように決まりました。

長谷川理事長の挨拶と、木下博様の祝辞を乗せて頂くと共に、会員の皆様のご協力を得て、この総会に大勢のご出席を頂きましてありがとうございました。

理事長挨拶

（社）入間市シルバー人材センター 理事長 長谷川 吉男



皆さんこんにちは、平成20年度第2回定期総会に大勢のご出席を頂きましてありがとうございました。また、本日は、ご多忙のところ、入間市長木下博様をはじめ、ご来賓の方々のご臨席を頂き、会員一同を代表して厚く御礼を申しあげます。

シルバーの平成20年度の事業計画は、市当局のご指導とご支援を頂き実行目標を消化しておりますことをご報告しますと共に御礼を申しあげます。

そして会員の皆さんには、何時もながらシルバー運営に際し、深いご理解とご協力を頂きまして感謝を申しあげます。

シルバーを取り巻く現状は、周知の通り経済環境も就業条件も昨年10月以来、不況と言ふ人為的な悪弊によつて現在に至つております。市場原理の導入、規制緩和等で、

市長ご挨拶

入間市長 木下 博 様



皆さん、こんにちちは。本日は、平成20年度第2回定期総会。雨の中ではありますけれど、こんなにも大勢な熱心な会員の皆さんのご出席で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

今、長谷川理事長の方から、現在のシルバーの置かれている立場、そしてまた、これから目指すべきものについて、色々とお話をございました。そのお言葉の中に、高齢者が押し込められているという、まさに、皆さんの声を代弁するようなご挨拶もあつた訳でございます。

この日本という国は、確かに公平で公正で自由でという、非常に明るい展望が語られますけれども、その現実は、折りにふれて厳しい環境を作り出しているのも否めない事実でございます。

介護保険法が制定され、障害者自立支援法が制定され、そして、究極の制度ともいわれている後期高齢者医療制度の制定もされました。その目的は、大変素晴らしいも

さも、公平な生活環境、住み良い日本を構築するが如き欺瞞の中に高齢者を閉じ込め、苦しめてきました。昨年来、不況の中で会員の8名が就業を失いました。現在も、会員の就業を解約されないように交渉を続けているのが現状です。

私たち高齢者は、原点に戻つて反省を行い、シルバー人材センターの出発点から出直す機会だと思います。

新しい制度の公益法人が昨年12月から始まりました。この制度の精神と運用方法を習得しながら前進して参ります。時代は急変しております。

「私たちは働くことで、生きがいと健康、そして社会参加を目指します」が基本でした。そして自主・自立、共働・共助の理念を全身にたっぷりと浸透させて就業に励んできました。しかし、入会の第一歩が「働くことです」。その働くことが昨年10月から失われようとしております。その為に会員の一人でも多くの就業ができるように企業を探すこと、そして、安全で安心できる就業現場の開拓に専念しております。

第1に、独自事業として会員の就業可能な仕事の開拓を行い、例えば、「営繕的な事業」として、自信を持って実行にあたつていいく。独自事業の創造と就業範囲の拡大を試みながら実行していきます。

さも、公平な生活環境、住み良い日本を構築するが如き欺瞞の中に高齢者を閉じ込め、苦しめてきました。昨年来、不況の中で会員の8名が就業を失いました。現在も、会員の就業を解約されないように交渉を続けているのが現状です。

私たち高齢者は、原点に戻つて反省を行い、シルバー人材センターの出発点から出直す機会だと思います。

新しい制度の公益法人が昨年12月から始まりました。この制度の精神と運用方法を習得しながら前進して参ります。時代は急変しております。

「私たちは働くことで、生きがいと健康、そして社会参加を目指します」が基本でした。そして自主・自立、共働・共助の理念を全身にたっぷりと浸透させて就業に励んできました。しかし、入会の第一歩が「働くことです」。その働くことが昨年10月から失われようとしております。その為に会員の一人でも多くの就業ができるように企業を探すこと、そして、安全で安心できる就業現場の開拓に専念しております。

第1に、独自事業として会員の就業可能な仕事の開拓を行い、例えば、「営繕的な事業」として、自信を持って実行にあたつていいく。独自事業の創造と就業範囲の拡大を試みながら実行していきます。

シルバー会員が一丸となつて、この不況を乗り切る為、全力を傾けることをお約束をさせて頂くと共に、会員の皆様のご協力を得て、この不況を見つけること、そして会員の出来る仕事を創りだすことに全力を傾注していくことを心からお喜び申し上げます。

この日本という国は、確かに公平で公正で自由でという、非常に明るい展望が語られますけれども、その現実は、折りにふれて厳しい環境を作り出しているのも否めない事実でございます。

報告事項

- ・賛成多数で承認された。
- ☆（社）入間市シルバー人材センター懇話会要綱の制定について
- ☆賛成多数で承認された。
- ・同班の活動に際し、必要不可欠とのことで全理事の賛成を得て、購入を決定した。
- ☆入間市シルバー人材センター役員の業務委託に関する規程の制定について
- ・賛成多数で承認された。
- ☆（社）入間市シルバー人材センター懇話会要綱の制定について
- ・賛成多数で承認された。

※ 理事会報告※

審議事項

△事務局長より

☆新入会員8名の承認。

☆シルバー活動センター建設に係る基本計画策定について

・建設促進のため、基本計画を策定したい旨の説明があり、コンサルタント事務所に、基本計画の作成を委託することに、全理事の承認を頂いた。

☆「すぐやる作業班」専用の作業車の購入について

・同班の活動に際し、必要不可欠とのことで全理事の賛成を得て、購入を決定した。

☆入間市シルバー人材センター役員の業務委託に関する規程の制定について

・賛成多数で承認された。

☆（社）入間市シルバー人材センター懇話会要綱の制定について

・賛成多数で承認された。

- ☆「営繕班」の立上と就業の創出を図つていくことについて
- ☆宮寺監事の中間監査報告書について
- ☆公益法人認定に関する状況について
- ・西部ブロック局長会議において、いきいき埼玉職員より、シルバー人材センター向けの説明会開催を追つて通知する旨、報告があつた。
- ☆緑地関係就業者研修会について
- ・1月22日（木）、東京都内の有名庭園の見

- ◆事務局より
- ☆ボリビア大使を招いての講演会と親睦パーティーを開催する日程変更について
 - ・当初、1月を予定していたが、大使の都合により2月19日に変更。了承された。
- ☆財務に関する執行状況について
 - ・1月現在の当センターの現金、銀行預金、各積立基金、未収金等の報告があつた。
- ☆イオン店内での年末、年始の餅つき販売の中止について
 - ・イオン本社より、全国にある同店の敷地内では、ガスを使用していないので、中止することとなつた。
- ☆勤労福祉センター内ホール一角に、談話コーナーを設置することについて
 - ・「すぐやる作業班」業務実績について
 - ☆「シルバーだより」発刊について
 - ・理事長より、現行の「シルバーだより」は年2回の発行とし、必要に応じ「お知らせ版」の発行を行つていくこととする旨の報告があつた。

平成20年度 緊急理事会開催

(平成21年1月8日開催)

学研修会の計画の発表があつた。

- ☆不況下における就業対策について
 - ・理事長より、①会員に公平な就業とするため、組織の改革を行う。②独自事業で自分たちの働く職場を作る。③営繕事業で就業会員の増大を図る。④シルバー人材センター設立の精神である、自主・自立・共働・共助を基本理念とした就業の在り方を追及し、安全就業を選択していく。⑤シルバーハート人材センターで働くための心がけは、健康・意欲・協調性・生きがい・社会参加することなど、一つでも欠如しては就業会員として失格である。このため、研修・勉強・観察など、私たち全会員が、研鑽する機会を企画・計画、実行していく。

- これらの事項を、早急に実行することで、現下の厳しい不況を乗り切つて行きたいとの発言があり、全員異議なく賛同、承認された。
- ☆公共施設管理業務委託検討委員会設置について
 - ・理事長より、不況下の対応策の一つとして、公共の委託業務就業の在り方にについて、民間企業就業者との均衡を図るために「公共施設管理業務委託検討委員会」を設置し、対応を進める旨の提案があり、検討の結果、全員異議なく承認。次の7名の委員が選出された。

のがあると私も評価をいたします。しかし、その中身、やつてることについては、まさに、高齢者にお金が掛かり過ぎるので、もつと自主自立でやつてもらおうという形を求めているのは、大変残念な気がします。

我々も含めて、もつともっと説明責任をはつきりさせ「こういう理由で後期高齢者の制度が制定されたんだ」「なぜ、75歳以上なのか」。我々自身もあまり分からぬようないよう形でこの医療制度がスタートをしたという一つの例ですけれども、全く説明不足に尽きると思う訳でございます。

そして、今回の経済不況、世界的に大恐慌となつております。

政府が説明するように、確かに全体的な視点からすれば、日本の被害は欧米諸国、その他の国々と比較して、決してそんなにひどい状況ではない。それは、その通りしかし、現実には、多くの非正規労働者等の問題や、また、高齢者が一生懸命頑張つて自分達の生活基盤を確立しよう、生きがいを見つけ出そう、健康を維持しよう、皆と仲良くやつていこうという團体が非常に苦境に追い込まれているというのも事実でございます。

本来は、もつともっと市なり国なりが、昔の高齢者事業団のような形で支援するべしかもしませんけれども、とても今、そのようなお金が回らないということで、皆さん方には法人の選択をして頂き、そして、活動をお願いした訳であります。

その目的は、皆さんのが自由にやりたい方

向を目指して頑張ろうという大きな目的があつたはずでしたけれども、今、長谷川理事長のお言葉のとおり、大変残念ながら、今回の不況によつて多くの方々がその職を失わざるを得ない、これもまた、現実であります。

また、国においては、ここで回復対策として、色々な制度を打ち出しております。従つて、行政としてもシルバー人材センターに対して、仕事としてやつて頂けるものについては、是非、お願いをしよう用意、準備をしているところでございますので、ご理解を頂き、希望を失わないで、皆で助け合おうという團結の力を出して頂きたいと思つております。

これから入間市も、どんどん高齢化がすんでいきます。今は大変若いです。おそらく高齢化率は、18.4%位。国はおそらく、22.23%位になつてゐると思ひます。従つて、こういう状況の中で何を目指すべきかといったら、元気な皆さんのが自分の思うところによつて収入も得ながら、皆で頑張ろうという活動を、これからも支援し

ていかなければいけないと私は思つております。ただ、今の入間市政の財政状況は大変厳しいものがあります。何とかして、この不況を乗り切れれば、展望は明るくなると思います。

是非、力を合わせて長谷川理事長をはじめ、役員・会員の皆さまがお互いに議論をするけれど、目指す方向は同じなんだ、ということを頭に置いて頂いて、これからシルバー人材センターの發展のための議論を、大いにして頂きたいと思う訳であります。

我々も又、理事長とも十分に連携を密にして、色々な制度を打ち出しております。従つて、行政としてもシルバー人材センターに対して、仕事としてやつて頂けるものについては、是非、ご理解を頂き、希望を失わないで、皆で助け合おうという團結の力を出して頂きたいと思つております。

これから入間市も、どんどん高齢化がすんでいきます。今は大変若いです。おそらく高齢化率は、18.4%位。国はおそらく、22.23%位になつてゐると思ひます。従つて、こういう状況の中で何を目指すべきかといったら、元気な皆さんのが自分の思うところによつて収入も得ながら、皆で頑張ろうという活動を、これからも支援し

- ・理事長より、不況下の対応策の一つとして、公共の委託業務就業の在り方にについて、民間企業就業者との均衡を図るために「公共施設管理業務委託検討委員会」を設置し、対応を進める旨の提案があり、検討の結果、全員異議なく承認。次の7名の委員が選出された。
- ☆公共施設管理業務委託検討委員会設置について
 - ・理事長より、不況下の対応策の一つとして、公共の委託業務就業の在り方にについて、民間企業就業者との均衡を図るために「公共施設管理業務委託検討委員会」を設置し、対応を進める旨の提案があり、検討の結果、全員異議なく承認。次の7名の委員が選出された。

☆（社）入間市シルバー人材センター地域会の委員選任と承認について
・理事長より、以下の5名の懇話会委員候補者の発表があり、全員承認された。
◆横田 敬一氏
(財) いきいき埼玉評議委員会委員
◆小川 義男 氏

学校法人狭山ヶ丘学園
◆杉山 慎一郎 氏
・互助会の会計年度が、3月31日に終了す
☆互助会総会の対応について
・互助会の会計年度が、3月31日に終了す

☆（社）入間市シルバー人材センター地域会の委員選任と承認について
・理事長より、以下の5名の懇話会委員候補者の発表があり、全員承認された。
◆横田 敬一氏
(財) いきいき埼玉評議委員会委員
◆小川 義男 氏

学校法人狭山ヶ丘学園
◆杉山 慎一郎 氏
・互助会の会計年度が、3月31日に終了す
☆互助会総会の対応について
・互助会の会計年度が、3月31日に終了す

☆（社）入間市シルバー人材センター慶弔委員会を発足させたい旨の提案があり、その検討を進めるため「地域班設置検討委員会」を発足させた。委員に次の5名が選出され、委員長に森田事務局長が選出された。
・地域班設置検討委員会委員
森田事務局長、大坂隆俊、梅田久雄、鈴木吉峯（略敬称）

松下 順吉、梅田 久雄、松本 純一、大坂 隆俊、山下 英雄、森田 旭（略敬称）
☆地域班設置検討委員会発足について
・理事長より、平成21年度から互助会に代えて地域班を設置することが決定されおり、その検討を進めるため「地域班設置検討委員会」を発足させたい旨の提案があり、全員異議なく承認された。委員に次の5名が選出され、委員長に森田事務局長が選出された。

☆新春ほつとな写真展＆ミニ文化祭の実施について
・2月7～9日に開催する第2回写真展＆ミニ文化祭の会場設定に伴う展示パネルの借用、搬入・組立や、展示作業等について関係者への要請があつた。
☆ボリビア大使を招いての講演会並びに交流懇談会開催計画について
・平成20年度 第2回定期総会の日程について
☆債権の貸倒れ処理について
☆公共施設管理業務委託検討委員会の変更について
☆新理事及び監事選考委員会委員の選出と承認について
・事務局長より、第3号議案について、特別会計収支予算案の承認について
第4号議案 平成21年度 介護保険事業特別会計収支予算案の承認について
第5号議案 互助会規約を廃止にする規約案について
第3号議案 平成21年度 収支予算案の承認について
第2号議案 平成21年度 事業計画案の承認について

☆地域班設置検討委員会
・事務局長により、1月に行われた地域班設置検討委員会の議事についての内容説明があつた。①地域の区分け ②地域班の事業③地域班の役職 ④地域班の活動費⑤組織の位置づけ 等について。また、員一致で承認した。

☆報告事項

・規程に基づき、5名の選考が行われたが、内1名については、理事の一人より、代わりの人選をとの意見があり採択。次回理事会までに選出することとした。
☆（社）入間市シルバー人材センター慶弔バーチャル人材センターフェアに於ける基準内規制定について
・互助会規約第4条第2項の慶弔基準を、互助会規約廃止に伴い、（社）入間市シルバー人材センター慶弔に於ける基準内規とすることとし、全員一致で承認された。

・平成20年度第2回定期総会議案書の事前検討を行なう。
☆平成21年度予算（案）についての事前検討について
・前回の理事会において、欠員一名の選出を行い承認された。
☆平成21年度予算（案）についての事前検討について
・平成20年度第2回定期総会議案書の事前検討を行なう。
☆平成21年度予算（案）についての事前検討について
・前回の理事会において、欠員一名の選出を行い承認された。

☆平成21年度運営方針について
理事長より、新年度の運営方針について、
3月の定期総会の承認事項をもとに改め
て内容説明があった。
①就業会員の心身の健康増進活動費と奉
仕活動費で1200万円計上した。検討
委員会で十分検討し実施してもらう。
②奉仕活動委員会を組織し、市と参加する
会員に奉仕していく。

③経済不況が深刻化することを前提に、自
主事業等で一人でも多くの会員が就業
できるよう努力する。
以上のことが強調され、全員異議なく了承
された。

☆理事の役割分担と参画について
理事長より、新年度に当たり、既に発足
している委員会、並びに新しく発足させる
委員会へ、各理事の参加と、活動の中心と
なるよう依頼があった。全員異議なく了承
された。

☆「すぐやる作業班」「便利な直し屋さん」
の宣伝について

☆「すぐやる作業班」「便利な直し屋さん」
の宣伝について

☆「心で行動する イメージアップ作戦」

報告事項
◇事務局より

・森田事務局長より、宣伝用ポスターのサ
ンプルの提示があった。今後、公民館、そ
の他へ展示や配布、並びに、理事・会員の
口コミにより実施していきたい旨の報告
があつた。

☆「心で行動する イメージアップ作戦」

報告事項
◇事務局より

・大坂副理事長より、基本計画策定業務は
理事会の承認を得てコンサルタントに委
託して進めており、間もなく完了する予
定である旨報告され、了承された。

☆去る3月10日に行われた、平成18・19年
度シルバー人材センター連合の活動拠点に
おける高年齢者就業機会確保事業費等補助
金の経理事務指導の結果について
・埼玉労働局職業安定部長名で以下の指摘
があり、了承された。

①物品購入等支出に関する規程書類を早
急に整えること。
②郵券の受払いについて、現数と帳簿の
数を一致すること。担当者以外の者に
より郵券現数を確認すること。
③商品券配布のようない理事長個人の考
えによる支出は厳に慎むこと。
④会計帳簿の鉛筆書き、シャチハタ、修
正液使用は不可、を職員に徹底するこ
と。

⑤職員給与等の基準を早急に整理するこ
と。(理事長判断による、では第三者に
説明できない。)
☆退会者について
・退会者8名。(男性4名、女性4名。)
☆埼玉県内シルバー人材センター等事業実
績の報告
・草取り業務について
・事務局長より、今年度の草取り業務の方
針が説明され、奉仕活動として実施するこ
小中学校の草取り業務については、昨年

昨年度中に発生した事故

安全推進員 大坂 隆俊

新年度より安全推進員に任せられました。

宜しくお願ひ致します。

会員の皆様方には、安全就業にご努力を
頂いているところですが、平成20年度中に、
以下のような事故が発生しましたので報告
いたします。

1. 就業中、及び自宅・就業地間の交通途
上の傷害事故は、16件発生しました。内
訳は、自転車・バイクの転倒事故等が一
番多く4件、就業中の転倒等が3件とな
っております。

2. 自動車に関する交通事故件数は1件
で、昨年度の7件に比べ、大幅に減少し
ました。

3. 物損事故については5件で、その内4
件は、草刈り機の操作中に小石などを跳
ね上げ、近くの自動車のガラス等を損傷
させたものです。また、就業先の構内に
おいて、運転ミスにより他人の車に接触
する事故が1件ありました。

事故の内容について感じられることは、
自転車利用中の転倒事故が多いことです。
また、就業中の転倒事故では、清掃中に
水や洗剤など、滑りやすい床面での転倒な
どでした。物損事故の草刈り機の操作時は、
ネットやカバー等を用いるなど、アイデア
を出し合い、細心の注意を払って頂きたい
と思います。互いに無事故を目指し頑張り
ましょう。

『名園を訪ねて』

小石川後楽園・六義園・旧古河公園

今年1月22日に、植木班、草取り班、公
園管理班など、緑地関係就業会員を対象に、
小石川後楽園、六義園、旧古河庭園の都内
の3庭園の見学研修会を開催しました。

当センターを朝8時半にバスで出発し、
夕方、5時頃の帰着となる行程で、当日

審議事項

☆平成21年度運営方針について
理事長より、新年度の運営方針について、
3月の定期総会の承認事項をもとに改め
て内容説明があった。

①就業会員の心身の健康増進活動費と奉
仕活動費で1200万円計上した。検討
委員会で十分検討し実施してもらう。

②奉仕活動委員会を組織し、市と参加する
会員に奉仕していく。

③経済不況が深刻化することを前提に、自
主事業等で一人でも多くの会員が就業
できるよう努力する。

以上のことが強調され、全員異議なく了承
された。

☆理事の役割分担と参画について
理事長より、新年度に当たり、既に発足
している委員会、並びに新しく発足させる
委員会へ、各理事の参加と、活動の中心と
なるよう依頼があった。全員異議なく了承
された。

☆「すぐやる作業班」「便利な直し屋さん」
の宣伝について

☆「心で行動する イメージアップ作戦」

報告事項
◇事務局より

・大坂副理事長より、基本計画策定業務は
理事会の承認を得てコンサルタントに委
託して進めており、間もなく完了する予
定である旨報告され、了承された。

☆去る3月10日に行われた、平成18・19年
度シルバー人材センター連合の活動拠点に
おける高年齢者就業機会確保事業費等補助
金の経理事務指導の結果について
・埼玉労働局職業安定部長名で以下の指摘
があり、了承された。

①物品購入等支出に関する規程書類を早
急に整えること。
②郵券の受払いについて、現数と帳簿の
数を一致すること。担当者以外の者に
より郵券現数を確認すること。
③商品券配布のようない理事長個人の考
えによる支出は厳に慎むこと。
④会計帳簿の鉛筆書き、シャチハタ、修
正液使用は不可、を職員に徹底するこ
と。

⑤職員給与等の基準を早急に整理するこ
と。(理事長判断による、では第三者に
説明できない。)
☆退会者について
・退会者8名。(男性4名、女性4名。)
☆埼玉県内シルバー人材センター等事業実
績の報告
・草取り業務について
・事務局長より、今年度の草取り業務の方
針が説明され、奉仕活動として実施するこ
小中学校の草取り業務については、昨年

審議事項

☆新入会員11名の承認。

☆地域班班長・副班長の選任について
白石理事より、平成21・22年度の地域班
班長・副班長候補者の推薦と説明があつた。

新たな地域班を発足させることから、互助
会役員にこだわらない等を考慮に入選。全
員一致で承認された。以下、新地域班班長
と副班長の方々です。(略敬称)

①豊岡東部地域班
班長 山田 稔
副班長 横田 充、菊池 昭夫

②豊岡西部地域班
班長 芹沢 勇
副班長 田谷 亘、猪上 好彦

③西武地域班
班長 秋元 紀信
副班長 村瀬 賢司、永井 栄

④金子地域班
班長 松橋 博正

報告事項 ◇事務局より

・森田事務局長より、平成21年度催事委員
会の活動計画が発表され、今年度も以下の
行事を開催・参加することとし、全員異議
なく承認された。

①第二回元気な入間年輪まつり
②入間万燈まつり
③やまとゆり荘フェスティバル

④その他、市や市民団体が開催する催事へ
の要請があつた場合

①に関しては、大筋で昨年と同様の内容規
模で開催する。日程については、現時点で
行事を開催・参加することとし、今後詰めて
いく。

②9月20日(日曜日)を予定し、今後詰めて
いく。

☆財務に関する執行状況について
・財務諸表の資料により説明があつた。

☆シルバー活動センター基本計画策定業務
進捗状況について

⑤宮寺・二本木地域班
班長 五嶋 快明
副班長 大森 健二、友野 滋

⑥東金子地域班
班長 荒島 敏生
副班長 松本 勇雄、一戸 元夫

⑦藤沢地域班
班長 増田 保行
副班長 真鍋 宏、須田 助

について
・昨年7月より、森田事務局長がセンター
で勤務・就業する者が、業務の効率化、來
訪者に対する接客態度など、センター運営
を円滑にするための意識の高揚を図つて
いこう、と提案した内容をまとめて全理事
に配布した。

培養活動の影響を大きく受けたいわゆる「アーティスト」ことや、日常生活においては、原住民の生活に学ぶべきことが非常に多いことなど、アメリカ、ヨーロッパ、そして、日本など、先進国といわれる国々の地球環境に対する責任の大きさを痛切に説かれ、大変考えさせられるテーマでありました。

講演会の後では、ピアノ、フルート、マリンバを演奏する3名の女性演奏家のミニコンサートが行われました。

高度の音樂性と演奏技術をもたれた3名によつて、日頃、親しみのあるクラシックの名曲を数曲演奏して頂きました。

また、最後には、私たちが幼い頃に口ず

平成21年度 役員並びに職員名簿

会員数 (平成21年5月15日現在)

発行所
(社)入間市シルバー人材センター
〒358-0014
埼玉県入間市宮寺4102-17
TEL 04-2934-5350
FAX 04-2934-5307
E-mail iruma@sjc.ne.jp

ボリビア大使をお招きして
—ボリビアの自然と文化—

事務局長 森田 旭

去る2月19日、産業文化センターにおいて、駐日ボリビア共和国 安次嶺 正勝ハイメ特命全権大使の公開講演会が開催されました。大使は、一昨年入間市を訪問され、木下市長と親しく懇談の機会を持たれました。この縁で広く入間市民の皆さんにボリビアの国をご紹介して頂くため、公開講演会を開催することとなつたものです。

講演の中で、ボリビアの自然や農業など、地球温暖化の悪影響を大きく受け始めてい

さんだ日本の童謡などを、来場者と共にメドレーで合唱して終了いたしました。

この後行われた大使ご夫妻を囲んでの交流親睦会では、木下市長始め、市の国際交流協会の中島会長、入間市区長連合会の福島会長、いきいき埼玉評議委員の横田氏、そして、大使館関係者、大使夫人の知人やコンサートの演奏者、また、協力会の杉山会長をはじめ協力会会員、当センターから理事、班長、事務局職員など、50名を越す参加を頂き和やかに、且つ、有意義な交流会となりました。

ここに、講演会の開催に際し、多くの方々のご協力を頂きました。関係各位に感謝の意を表します。

2009年(平成21年)5月 いるまシルバーだより

は、時折、小雨の降る天候でしたが、その代わり、他の入園者の数も少なく、園内を案内してくれたボランティアの方の説明もゆっくり聞くことが出来ました。特に、六義園ではプロの植木職人さんが説明に就いて頂き、植木班の会員から、手入れに関する技術的な沢山の質問に対し、とても丁寧に答えて頂きました。

参加した会員の方々からは、「大変参考になつた」「仕事に活かしたい」と好評を頂きました。

日頃の作業現場に近い環境のもとでの実地勉強会は、高い効果のあることを認識することが出来たと思います。



文責 鈴木吉峯

第2回 新春ほっとな写真展 &ミニ文化祭



〔同時開催されたミニ文化祭〕



[第2回 新春ほっとな写真展]

第2回 新春ほっとな写真展